

日本語教室部会の親睦会夏まつりが 4年ぶりに開催されました

渡邊裕子(日本語教室部会)

日本語教室部会はコロナ感染対策緩和に伴い、8月26日(土)恒例の「親睦会夏まつり」をサンロード津田沼6階大会議室で開催しました。

「日本の夏の風物詩でもある浴衣を着て、盆踊りを楽しもう!」「外国人学習者、日本語ボランティア、地域住民との交流を深めよう!」をキャッチフレーズに、過去最多の110名、11カ国62名の外国人学習者と家族・友だち、そして48名のボランティアと関係者が参加しました。



参加者全員で記念撮影



大会議室で本番前の練習

その場で「やっぱり浴衣を着たい」という希望者にも、予備とサイズが合う限りボランティアの着付け担当者が対応していました。はじめて浴衣を着た学習者は、大変うれしそうな様子で、家族や友人と写真を撮り合ったり、ボランティアに写真をお願いする姿が、あちこちで尽きることなく見受けられました。ある学習者は出身国の両親に「日本で友だちと楽しんでいます」と写真を送ると言っていました。

大会議室で、支援をいただいた吉野会の方たちの指導を受けながら、盆踊りの練習を大きな輪になって行いましたが、皆さんあつという間に上達し、全身で楽しみながら踊る中、

浴衣の着付けは予約をすることになっていましたが、

浴衣を着た小さいお子さんがはちきれんばかりにくるくると回って踊る姿がとても微笑ましく、温かい気持ちになりました。練習の間に、サンドイッチやおにぎり等の軽食をバイキング形式でいただきながら、歓談も行いました。

いよいよ本番となり、津田沼地域の方たちが開催する京成津田沼駅前



市民の中に交じって踊りました

広場での盆踊り会場へ。提灯がともされ、和太鼓の轟く中、学習者たちは市民の人たちと一緒に汗だくになるまで踊りを満喫していました。

私は、今回初めて担当幹事の一人として、また参加者として参加しましたが、日本の文化の一端に触れることでこんなに喜ばれ、こちら楽しい気持ちになって、とても意義のある親睦会夏まつりだと思いました。